

主要事業マネジメントシート

都局名 環境農林水産部

事業名		大阪版施設園芸新技術普及推進事業 / 担当室課 環境農林水産部農政室推進課			
予算額	H24 千円() H25 千円()	H26 千円() H27要求 千円()	H24 千円() H25 千円()	実績	千円() 千円()
事業の優先性	■重点課題(知事重点分野) (項目名: 農業の成長産業化) 9,242 千円() ■成長戦略 (項目名: 農産物の多面的な機能を活かした都市づくり・都市農業の推進) □人口減少関係 ■その他 (項目名: 将来ビジョン大阪 大阪産(もん)オンリー) □新・地震防災アクションプラン (項目名:)				
役割分担	■府の役割 □国の役割 □市町村の役割 (理由)大阪産(もん)の生産向上に向けた広域としての府の役割	■民間では実施不可(行政がすべき役割) ■民間で実施するためのインセンティブとして実施 □その他 (理由)大阪産(もん)の生産向上に向けた自治体の役割	民間との役割分担 大阪産(もん)の生産向上に向けた自治体の役割		
事業選択	手法の妥当性 ○大阪農業の施設園芸生産の主力品目(ぶどう、しゅんぎく等軟弱野菜)では、近年、温暖化や天候不順に起因する生育障害により生産性が大きく損なわれており、既存農家の収益拡大や新規参入企業等の経営安定を図る上で障害となっている。 ○これらの問題に対応する既存技術はあるものの、大規模産地向けの高コスト技術であり、機器の導入補助・融資等の支援策により府内で普及させることは困難。 ○一方で、環農水研では大阪の小型施設向けの技術開発が一定の成果をあげていることから、府内の園芸産地及び施設メーカ等と連携して、大阪農業に即した低コスト・高効率の環境制御技術を実用化し、普及を図ることとした。 □受益者負担あり(内容・水準: □受益者負担を求めない(理由: ■受益者負担にしない)	将来のリスク管理 2年間の現地実証により、低コスト・高効率の環境制御新技術を実用化することで、農業者による自主的な導入を促進するものであるため、将来的なリスクは問題なし			
事業間調整	庁内での連携 特になし 他事業との整合性等 特になし	(事業目標) ぶどう及び軟弱野菜における低コスト・環境制御技術の実用化 (実績) ○新技術の普及により生産安定が図れる品目(作型)の標準的な売上 しゅんぎく(ハウス夏まき): 約80万円/10a ぶどう(ハウス二重被覆無加温): 約140万円/10a ※大阪府農業経営指導指標(H19.3月発行)による ※実際には、協力農家から別途売上データの提供を受けて達成度合いを計測する			
事業効果	(指標) 10a当たり収益10%増 (目標)	(事業期間) H 27 ~ H 28 (指標) H24(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円 H25(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円 (コスト分析結果)			
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合に記載> -目標に達しなかった場合の改善方策 目標に達しない場合は見直しを検討				